

第 50 回 愛媛県教育研究大会(統一大会)開催要項

愛媛県教育研究協議会では、学校関係者や児童生徒、保護者並びに地域の期待と信頼にさらに応えるべく、研究推進および組織の活性化に努めております。

標記研究大会は、平成 30 年度から始まった 3 期 6 か年の新しい研究体制最後の第 14 期を迎えました。

第 50 回愛媛県教育研究大会（統一大会）の開催に当たり、県民の信頼と期待に応える愛教研を目指し、関係の方々の御指導を賜りながら、今後一層の研究推進に努めたいと考えています。

大 会 要 項

- 1 大会主題 「子どもが変わる教育の推進」
～主体的・対話的で深い学びに向かう授業の創造～
- 2 趣 旨 愛媛県教育研究協議会では、結成当初から時の教育課題の解決に向けて真摯に取り組み、愛媛県教育研究大会において、その取組の成果を共有してきた。平成 14 年度（第 7 期）以降は、「生きる力を育む教育の創造」を大会主題とし、3 年サイクルでの実践研究を積み重ね、大きな成果を上げてきた。しかし、急激な変化を見せる社会からは、様々な課題への早急な対応が求められてきた。
そのため、本協議会では、学習指導要領の核とも言える「主体的・対話的で深い学び」に視点を当て、平成 30 年度から 2 年サイクルとし、3 期 6 か年をかけて、学習過程（どのように学ぶか）の質的な改善を図るための研究実践を積み重ね、子どもが変わる授業や学校の在り方に迫ってきた。平成 30 年度・令和元年度の第 12 期では、「主体的な学び」に、また、令和 3 年度・令和 4 年度の第 13 期は、「対話的な学び」に焦点を当てて実践的な研究を推進し、さらに令和 5 年度に、いよいよ最終の第 14 期を迎えることとなった。
そこで、本年度は、「深い学び」に焦点を当てた第 14 期の 1 年次として、研究推進の内容や方法の説明、研究指定校による研究推進計画の報告等、今後の研究の基本的な理念や方向付けを明らかにすべく、第 50 回愛媛県教育研究大会（統一大会）を開催する。
- 3 主 催 愛媛県教育研究協議会
- 4 後 援 愛媛県教育委員会 愛媛県市町教育委員会連合会 愛媛県教育会
愛媛県 P T A 連合会 愛媛県小中学校長会 愛媛県小中学校教頭会
愛媛県公立小中学校事務長会 愛媛大学教育学部 愛媛新聞社
南海放送 テレビ愛媛 愛媛朝日テレビ あいテレビ
- 5 日 時 令和 5 年 8 月 8 日（火） 13:00～16:40
- 6 会 場 エスポワール愛媛文教会館 大ホール
松山市祝谷町 1 丁目 5 番 33 号

- 7 参加者 490名程度(ハイブリッド開催)
 ○ 愛研会員(指名)
 ○ 来賓・役員等

8 日程

12:30～12:50	受付
13:00～13:20	開会式
13:30～14:55	基調提案及び研究指定校研究推進計画報告
15:05～16:25	講演
16:25～16:40	閉会式

9 内容

(1) 開会式

① 開式の言葉	愛媛県教育研究協議会	副会長	藤原 利恵
② 挨拶	愛媛県教育研究協議会	会長	宮岡 真司
③ 来賓祝辞	愛媛県教育委員会	教育長	田所 竜二
④ 来賓紹介	愛媛県教育研究協議会	副会長	川上 斉睦
⑤ 閉式の言葉	愛媛県教育研究協議会	副会長	桐山 真美

(2) 基調提案及び研究指定校研究推進計画報告

◇ 基調提案	愛媛県教育研究協議会	教育研究局長	八木 誠一
◇ 研究推進計画報告			
報告1	宇和島市立明倫小学校	報告者 教諭	三好 幸子
報告2	宇和島市立城南中学校	報告者 教諭	河野 美佳
◇ 研究指定校アドバイザー			
明倫小アドバイザー	愛媛大学教育学部	教授	鴛原 進
城南中アドバイザー	愛媛大学教育学部	教授	日野 克博
◇ 研究部アドバイザー	愛媛大学大学院教育学研究科	教授	城戸 茂

(3) 講演

演題	「バトンを受けて進める子どもが創る深い学び」		
講師	愛媛大学大学院教育学研究科	教授	城戸 茂

(4) 閉会式

挨拶	愛媛県教育研究協議会	副会長	三好 則史
----	------------	-----	-------